

事業番号	08 02 11	<b>事業改善シート（24年度実施事業分）</b>		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>体験的食育推進事業</b>			担当課	部局	農政部
				担当課	課・室	農業政策課農産物マーケティング室
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成		E-mail	<a href="mailto:marketing@pref.nagano.lg.jp">marketing@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開			実施期間	H23 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 農産物の生産における様々な体験の機会を通して、食に対する関心と理解が深まる</p> <p>【地域支援事業】 地域における食育推進活動を行う食育ボランティアの育成等により、日本型食生活の普及を促進する</p>
現状	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 H23～H25の3年間で30団体の活動助成を行うとともに、事業効果の検証を踏まえ、県内における面的な拡大の推進 実績:H23 11団体</p> <p>【地域支援事業】 地域における日本型食生活の普及促進</p> <p>達成指標:食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民の割合 H23:38% H24目標:40%</p>

県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 食農教育を県内各地で拡大させるためには、広域行政としての県の関与が必要 (消費・安全対策交付金実施要綱)
----------	--	--

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<p>【子ども農業体験活動支援事業】 H23～H25(3年間)で30団体への活動支援</p> <p>【地域支援事業】 食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民の割合 H24目標 40%以上</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績		
			H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)	
	子ども農業体験活動支援事業	補助金・交付金	実施団体への活動支援 事業費20万円×10団体×補助率1/2	1,399	880	1,000
	地域支援事業	補助金・交付金	栄養士会:料理コンテスト1回/年、食育リーダー育成1回/年 料理教室:19回/年 JA中央会:食農教育実践研究会の開催1回/年 岡谷市:食育学習会48回/年 ヘルスアップ教室5回/年	1,722	1,722	1,702
			合計	3,121	2,602	2,702

事業コスト	区分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算		3,349	3,121	2,702
		補正予算				
		合計(A)	0	3,349	3,121	2,702
	Aの財源	国庫支出金		3,149	2,921	2,702
		県債				
		その他( )				
		一般財源	0	200	200	0
	決算額(B)			2,817	2,602	
概算人件費	職員数(人)		0.40	0.40	0.40	
	概算人件費(C)	0	3,303	3,303	3,303	
	概算事業費(B(A)+C)	0	6,120	5,905	6,005	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
食文化や地域の産物を活かし、時には新しい料理を作ることを実践する県民割合	38.0%	40.0%	54.6%	達成	55%以上
子ども農業体験活動支援団体数	延べ17団体	延べ20団体	延べ17団体	未達成	延べ30団体

目標に対する成果の状況	地産地消に対する意識啓発や食や農に関するイベント、農業体験、調理教室などを通じて、食育活動実践者の割合を増加させることを目標としているところだが、各種取組により年度目標の40%を大幅に上回る成果(実績:54.6%)が得られた。 一方、子ども農業体験活動支援団体数は、年度当初の市町村等からの要望が少なく、未達成となった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き、市町村や各団体からの要望をお聞きしながら支援を行っていく。 農業体験や食育に関するシンポジウム等を通じて、「食」と「農」に対する関心と理解が深まり、家庭における日常生活の中での実践的な取組が増えてきていることから、今後も、豊かな人間形成と健康長寿に向け、食育活動実践者(割合)を増加させるため事業を継続する。
---------------------	---